

## 東京都立松が谷高等学校 令和4年度（1学年用）

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2単位

対象学年：1年1～8組

教科担当者：	1組 都築 実里	2組 都築 実里	3組 都築 実里	4組 橋爪 仁志
	5組 橋爪 仁志	6組 山口 友美恵	7組 山口 友美恵	8組 山口 友美恵

使用教科書：高等学校 言語文化（第一学習社）

使用教材：教科書、新訂 国語図説 六訂版 [デジタル版]（京都書房）

読解をたいせつにする 体系古典文法 九訂版（数研出版）

読解をたいせつにする 体系古典文法 学習ノート 三訂版（数研出版）

三訂版 体系漢文（数研出版）

体系漢文 学習ノート 改訂版（数研出版）

つながる・まとまる 古文単語 500 PLUS（いいずな書店）

Surface Go 3〔タブレット端末〕

### 科目の目標：

#### 知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

#### 思考力・判断力・表現力等

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

#### 学びに向かう力・人間性

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

年間計画

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			言語・ 国語	書	読		知	思	態	
一 学 期	<p><b>1.「古文を読むために1」 「児のそら寝」</b></p> <p><b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>我が国の言語文化の特質について理解する。</p> <p><b>思考力・判断力・表現力等</b> 古典の文章に慣れるとともに、説話という文章の種類を知り、内容を把握する。</p> <p><b>学びに向かう力・人間性</b> 積極的に説話を読み味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 本文中に登場する言語文化に特徴的な語句・語彙の意味や用法を学ぶ。</li> <li><input type="checkbox"/> 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。</li> <li><input type="checkbox"/> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。</li> <li><input type="checkbox"/> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li><input type="checkbox"/> 積極的に説話を読み味わい、「活動の手引き」に沿って話のおもしろさを文章にまとめる。</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。</li> <li><input type="checkbox"/> 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li><input type="checkbox"/> 積極的に説話を読み味わい、話のおもしろさをまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p><b>2.「古文を読むために2」 「絵仏師良秀」</b></p> <p><b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>我が国の言語文化の特質について理解する。</p> <p><b>思考力・判断力・表現力等</b> 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。</p> <p><b>学びに向かう力・人間性</b> 積極的に説話を読み味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 本文中に登場する言語文化に特徴的な語句・語彙の意味や用法を学ぶ。</li> <li><input type="checkbox"/> 主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。</li> <li><input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</li> <li><input type="checkbox"/> 説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。</li> <li><input type="checkbox"/> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li><input type="checkbox"/> 「活動の手引き」に沿って、最後の一文がある場合とない場合とで、話の印象がどのように変わるかをスライドにまとめて発表する。</li> <li><input type="checkbox"/> 積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。</li> </ul>			○	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li><input type="checkbox"/> 積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の考えを積極的に発表しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	<b>定期考査</b>					○	○	○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数	
			読 書	書	読		知	思	態		
一 学 期	<b>3. 「なよ竹のかぐや姫」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。  古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 積極的に初期仮名物語を読み味わう。	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する言語文化に特徴的な語句・語彙の意味や用法を学ぶ。  <input type="checkbox"/> 古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。  <input type="checkbox"/> 伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <input type="checkbox"/> 「活動の手引き」に沿って『竹取物語』やかぐや姫について知っていることを発表し合い、話の内容を文章にまとめる。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。  <input type="checkbox"/> 作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  <input type="checkbox"/> 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	○				3
	<b>4. 「訓読に親しむ(-)」</b> <b>「漢文を読むために1」</b>  <b>知識及び技能</b> 漢文を読むための基礎知識を理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。  <b>学びに向かう力・人間性</b> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	<input type="checkbox"/> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。  <input type="checkbox"/> 訓読のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。  <input type="checkbox"/> 日常的に使う格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得している。  <input type="checkbox"/> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。  <input type="checkbox"/> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	○				1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			漢文 知識	書	読		知	思	態	
一 学 期	<b>5.「訓読に親しむ(二)」</b> <b>「漢文を読むために2」</b>  <b>知識及び技能</b> 漢文を読むための基礎知識を理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。  <b>学びに向かう力・人間性</b> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	<input type="checkbox"/> 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。  <input type="checkbox"/> 訓読のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。  <input type="checkbox"/> 日常的に使う格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得している。  <input type="checkbox"/> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。  <input type="checkbox"/> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	○		○	1
	<b>6.「訓読に親しむ(三)」</b> <b>「漢文を読むために3」</b>  <b>知識及び技能</b> 漢文を読むための基礎知識を理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。  <b>学びに向かう力・人間性</b> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	<input type="checkbox"/> 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。  <input type="checkbox"/> 訓読のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。  <input type="checkbox"/> 日常的に使う格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得している。  <input type="checkbox"/> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。  <input type="checkbox"/> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	○		○	1
	<b>7.「狐借虎威」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。	<input type="checkbox"/> 訓読のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。  <input type="checkbox"/> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  <input type="checkbox"/> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。	○		○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数	
			言語 表現	書	読		知	思	態		
一 学 期	<b>学びに向かう力・人間性</b> 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	<input type="checkbox"/> 作品の歴史的・文化的背景を理解し、発表用スライドにまとめる。				<input type="checkbox"/> 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。		○	○		
	<b>8.「鶯のうへ」</b> 三好 達治  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉える。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 積極的に詩のリズムや作者の心情を理解する。	<input type="checkbox"/> 文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。  <input type="checkbox"/> 情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <input type="checkbox"/> 繰り返し音読し、詩のリズムや、そこから感じる作者の心情を理解する。  <input type="checkbox"/> 読み取った作者の心情について、文章にまとめる。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  <input type="checkbox"/> 文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉えている。  <input type="checkbox"/> 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。  <input type="checkbox"/> 描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情についてまとめようとしている。	○		○		4
	<b>定期考査</b>						○	○			
一 学 期	<b>9.「古文を読むために3」</b> <b>「伊勢物語 芥川」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。  <input type="checkbox"/> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。  <input type="checkbox"/> 物語中の和歌の解釈をスライドにまとめ、発表する。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。  <input type="checkbox"/> 歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  <input type="checkbox"/> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○		○		4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			国語 言語	書	読		知	思	態	
一 学 期	<b>10.「伊勢物語 東下り」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 <input type="checkbox"/> 主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 <input type="checkbox"/> 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 <input type="checkbox"/> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 <input type="checkbox"/> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。 <input type="checkbox"/> 物語中の和歌の解釈をスライドにまとめ、発表する。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <input type="checkbox"/> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 <input type="checkbox"/> 歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <input type="checkbox"/> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○			3
	<b>11.「伊勢物語 筒井筒」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 <input type="checkbox"/> 主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 <input type="checkbox"/> 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 <input type="checkbox"/> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 <input type="checkbox"/> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。 <input type="checkbox"/> 物語中の和歌の解釈をスライドにまとめ、発表する。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <input type="checkbox"/> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 <input type="checkbox"/> 歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <input type="checkbox"/> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○			3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			教科 書	書	読		知	思	態	
一 学 期	<b>12.「蛇足」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  <b>思考力、判断力、表現力等</b> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 訓読のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。  <input type="checkbox"/> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <input type="checkbox"/> 作品の歴史的・文化的背景を理解し、発表用スライドにまとめ、発表する。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  <input type="checkbox"/> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。  <input type="checkbox"/> 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめている。	○			2
	<b>定期考査</b>					○	○			
	<b>13.「羅生門」</b> 芥川 龍之介  <b>知識及び技能</b> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品を読んで感じたことを文章にまとめる。  作品の概要を発表用スライドにまとめ、発表する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 自分が感じたことや物語のあらすじを伝わりやすく表現する。	<input type="checkbox"/> 常用漢字を文や文章で活用する。  <input type="checkbox"/> 比喩などの修辞を理解する。  <input type="checkbox"/> 本文を読み、登場人物の心情をとらえる。  <input type="checkbox"/> 登場人物の心情の変化を、人物描写や風景描写などからとらえる。  <input type="checkbox"/> 時代背景を踏まえ、現代との違いをスライドにまとめ、発表する。  <input type="checkbox"/> 他の生徒の発表を聞き、自分と違うもののとらえ方や考え方、感じ方を知る。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また、比喩を用いた文章の効果的な組立て方について理解しているか。  <input type="checkbox"/> 登場人物の心情やその変化を、物語の展開に沿って的確にとらえている。  <input type="checkbox"/> 作品の概要やポイントを、相手に伝わりやすい構成や表現で発表している。  <input type="checkbox"/> 文章や発表を、相手が理解しやすいように工夫しようとしている。  <input type="checkbox"/> 他者の意見について理解し、考え方を広げようとしている。	○			8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			言語	書	読		知	思	態	
一 学 期	<b>14. 「古文を読むために4」</b> <b>枕草子「春は、あけぼの」</b> <b>「中納言参りたまひて」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 随筆の文体や取り上げられた対象について考察する。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 主として助動詞の扱いや意味について、文語のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。  <input type="checkbox"/> 自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深める。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。  <input type="checkbox"/> 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  <input type="checkbox"/> 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	○			2
	<b>15. 「古文を読むために5」</b> <b>土佐日記「門出」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に考える。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 主として助詞を中心に、既習である用言の活用、助動詞の意味について理解する。  <input type="checkbox"/> 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。  <input type="checkbox"/> 女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に考察を深める。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解いている。  <input type="checkbox"/> 日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  <input type="checkbox"/> 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に考察を深めようとしている。		○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			言語 表現	書	読		知	思	態	
一 学 期	<b>16.「完璧」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  訓読のきまりを理解する。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 訓読のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取る。  <input type="checkbox"/> 史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。  <input type="checkbox"/> 積極的に史伝を読み、蘭相如の考え方や人物像をスライドにまとめる。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  <input type="checkbox"/> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取っている。  <input type="checkbox"/> 積極的に史伝を読み、蘭相如の考え方や人物像を説明しようとしている。	○	○	○	2
	<b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。				○					
	<b>学びに向かう力・人間性</b> 積極的に史伝を読む。				○					
	<b>17.「自分の感受性くらい」</b> 茨木 のり子  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。	<input type="checkbox"/> 現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。  <input type="checkbox"/> 「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <input type="checkbox"/> 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。  <input type="checkbox"/> 作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に発表する。			○	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  <input type="checkbox"/> 現代詩の鑑賞の仕方を理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取っている。  <input type="checkbox"/> 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。  <input type="checkbox"/> 作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に話し合おうとしている。	○	○	○	5
	<b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。				○					
	<b>学びに向かう力・人間性</b> 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。  作者の批判精神について考え、考えたことを発表する。				○					
	<b>定期考査</b>					○	○			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数
			読 書	書	読		知	思	態	
三 学 期	<b>18.「古文を読むために6」 徒然草「花は盛りに」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを文章にまとめる。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 主として敬語について文語のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。  <input type="checkbox"/> さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明スライドを作成する。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。  <input type="checkbox"/> 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  <input type="checkbox"/> 本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことをまとめようとしている。	○			2
	<b>19.平家物語「祇園精舎」 「木曾の最期」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。  文語のきまりを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 作品を粘り強く読み、考えを深め、作品の特色をまとめる。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 既習の文法事項を確認する。  <input type="checkbox"/> 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。  <input type="checkbox"/> 作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。  <input type="checkbox"/> 「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。  <input type="checkbox"/> 作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。  <input type="checkbox"/> 軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○			3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数	
			話 聞	書	読		知	思	態		
		<input type="checkbox"/> 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を文章にまとめる。				<input type="checkbox"/> 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。  <input type="checkbox"/> 作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。		○	○		
三 学 期	<b>20.「その子二十」</b> <b>「こころの帆」</b> <b>〔言語活動〕</b> <b>「折句を用いて短歌を作る」</b>  <b>知識及び技能</b> 我が国の伝統文化の一つである短歌・俳句の鑑賞のしかたを理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 近代を代表する歌人・俳人の作品を味わい、表現技法などを理解する。  短歌を作り、近現代の詩歌に親しむ。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 短歌・俳句の形式や表現を進んで読み味わう。	<input type="checkbox"/> 常用漢字を文や文章で活用する。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な、短歌・俳句の表現の技法とその効果について理解する。  <input type="checkbox"/> 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 折句を用いて、感じたことを短歌で表す。		○		<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  <input type="checkbox"/> 我が国の伝統文化の一つである短歌・俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人・俳人の作品を味わっている。  <input type="checkbox"/> 短歌・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって作品に親しもうとしている。  <input type="checkbox"/> 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。  <input type="checkbox"/> 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。  <input type="checkbox"/> 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。  <input type="checkbox"/> 進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	○		○	○	5

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数	
			話 聞	書	読		知	思	態		
二 学 期	<b>21.「古今和歌集」</b> <b>「新古今和歌集」</b> <b>「古文を読むために7」</b>  <b>知識及び技能</b> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたや修辞を理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> これまでの学習を生かして和歌を鑑賞する。	<input type="checkbox"/> 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。  <input type="checkbox"/> 掛詞・縁語・見立て・本歌取り・本説取り・体言止めなどの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期から成熟期にかけての和歌の特色を捉える。  <input type="checkbox"/> 和歌という文章の種類を踏まえて、理的、観念的に表現された情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。			○	<input type="checkbox"/> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解し、時代ごとの和歌の特色を捉えている。  <input type="checkbox"/> 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  <input type="checkbox"/> 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	○	○	○	○	3
	<b>22.〔言語活動〕</b> <b>「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」</b> 俵 万智  <b>知識及び技能</b> 和歌の表現の技法とその効果について理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 文語を口語で表現しなおし、時代を超えて思いを伝えるツールとしての和歌を解釈する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 積極的に言語活動を行う。	<input type="checkbox"/> 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。  <input type="checkbox"/> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。  <input type="checkbox"/> 「活動の手引き」に沿って『伊勢物語』の和歌を現代語に書き換え、互いの解釈を比べ合う。			○	<input type="checkbox"/> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化の特質について理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。  <input type="checkbox"/> 自分の思いが効果的に伝わるよう、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	評価の観点			配当 時数	
			見 聞 書	書	読		知	思	態		
三 学 期						<input type="checkbox"/> 文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。  <input type="checkbox"/> 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。		○			
	<b>23. 「漢詩のきまり」</b> <b>「唐詩の世界」</b> 春曉 黃鶴樓送孟浩然之広陵 春望  <b>知識及び技能</b> 漢詩のきまりを理解する。  作品の歴史的・文化的背景を理解する。  <b>思考力・判断力・表現力等</b> 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  <b>学びに向かう力・人間性</b> 粘り強く漢詩を読み比べる。	<input type="checkbox"/> 漢詩のきまりを理解する。  <input type="checkbox"/> 作品の歴史的・文化的背景を理解する。  <input type="checkbox"/> 表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。  <input type="checkbox"/> 漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞する。			○	<input type="checkbox"/> 表現の技法とその効果について理解している。  <input type="checkbox"/> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。  <input type="checkbox"/> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。  <input type="checkbox"/> 表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。  <input type="checkbox"/> 粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	○		○		3
	<b>定期考査</b>						○	○			1